

平成22年度 第2回 北広島市環境審議会 議事概要

- 1 日 時 平成22年9月13日（月）午後6時30分～
- 2 場 所 市役所 本庁舎 2階会議室
- 3 出席者 委 員：五十嵐恒夫会長・中村洋副会長・村野紀雄委員
・上田純治委員・澤田美恵子委員・山北雅宏委員
・佐藤清一委員・長谷川眞知子委員
北広島市：小西課長、柳主査、平澤主査、阿部主査、
高橋主事
- 4 配布資料 （事前配布）
○ 議案書
- 5 会議内容

・事務局から市民アンケート結果について説明

（委員）ゴミのことについて、不法投棄などについて非常に不満が多いようだが、大曲地区の各町内会では、助成金をもらって生ごみを入れる箱が出来て、凄くゴミが減ったと聞いている。きちんと扉を開けて生ゴミを捨てるので、通り抜けする人がぽんと投げるのがなくなり、すごくゴミステーションがきれいになったということを知っている。

このアンケートを取った後、今は少しゴミの分別は整理されてきているように思うが。

（事務局）確かに今までの状況というのが頭にあって、それでお答え頂いている可能性もある。東部地区の臭いは、かなり最近では改善されていて、苦情もほとんどなくなってきている状況だ。だが今までのイメージがあって、今現在の状況よりも、そういう回答が多くなっているのかなと思う。ゴミに関しても良くなってきてはいるけれど、今まで見ている状態が頭にあって、こういう結果につながっていると思う。

（委員）アンケートでは、大曲に関しては道路のことが出てくるのはよく分かる。農協の所が2車線になってようやく渋滞が緩和されてきたと思っていたが、

アウトレットが出来ためにまた渋滞が出来た。
あの周辺の人たちは、非常に迷惑施設と言っている。

(事務局) 大曲地区の大型商業施設の関連では、良いという意見と同じか、それよりちょっと少ないくらいで、嫌いだというイメージが多い。それ以外にも大曲では交通量が多い、渋滞が多いということで嫌いだというイメージがあるようだ。

(会長) ゴミの問題は、私のところでもずっと大変苦労している。無料のゴミ、いわゆる資源化されるゴミは、透明の袋に入ればタダで回収される。それで本来有料の袋に入れなければならないものを、透明の袋に入れて出す人がたくさんいて、それが回収されないで残る。

プラスチックの容器がきれいに洗われていないということで、回収車が札を付けて置いておくと、その底に食品が残っており、それをカラスが見破ってゴミが散乱するというような問題があって、大変困っている。

私が町内会長をやっているので、毎月一回の回覧の時には、先日どこのどういう所でどういうものが回収されないで残されていたと、月によっては2ページに渡って書いて回しているが、袋が破かれていたので別な袋に入れて処理をした、と一度書いたところ、効果があったのか、急にそういう出し方が減った。今までは、回収業者か市がやってくれると思っていたことが、町内の人間が後始末をやっていると知り、これではまずいと思いそれを止めたのかもしれない。

おそらく、市内各所で頭を悩ましていることと思う。通りすがりの人がボンとそこに置いていく、という問題もあるのだろうが、大半は今私が言ったような問題だと思う。

市はそれを掌握しているはず。折を見てそういうことを市の方でピラを作って回す、というようなことを考えて欲しいと思っている。

(委員) 去年、無料ゴミの方は、燃料になるので、実験で少し分けてもらって色々やってみたが、正直言うと、山手町、北広団地、のゴミはもらって嬉しいが、それ以外の所の無料ゴミは要らない。

すごく汚くて手間暇がかかる。缶でも容器でも洗ってから出すということになっていると思うのだが、そのままというのがほとんどの地区の状況だ。いくつか頂いた中では、山手町あたりのゴミが一番きれいだった。

ゴミの回収に、コストをそれぞれ負担して下さいということにして、データ取って、あなたのところはいくらですよと、計算することは簡単にできると思う。

それを使うかどうかは別として、会長が言うような回覧版で、そんなことしている人が回覧版読んでくれるっていうのは信じられない。通常は読まないで、破って捨てる人がそういうことをすると思う。

（会長）市の自治会の半数だけがゴミの問題で市に協力するが、あとの半分は市の責任だ、我々住民は協力しないと聞いていると聞いている。半分の自治会だけが協力するということ。

そのへんが困った問題だと思う。

（委員）私の町内会では、男性3人がホウキを持って、ゴミ談義してステーションに立っている。やっぱり人が立って居れば、不法に投げていかない。町内の人は、やってくれて有難いと。

今まで、他から来て有料のゴミをこっちで来て投げていくという人もいたが、いなくなったようだ。

アンケートの中の、市民が取り組める環境に配慮した行動に関するところで、自分たちが必要だとか、関心がある、参加したいというのが凄く多い。地球温暖化防止対策を今やるべきだという人が、73.8%もいる。エコ・パートナーシップ北広島が温暖化防止の取組の団体で、そういう運動をしている団体だが、どんどん啓発したので、それがアンケートにも出ていると思う。標語も毎年、子どもたちや学校を巻き込んでやっている。凄く良い活動をしていると思う。

（会長）子どもの時に重要なことをきちんと理解できるように働きかけした方がいいと思う。20代の関心が非常に薄いということだが、これから何年かして、そういうことを教育された子どもが大きくなったら、この棒グラフも変わってくると思う。

自家用車の使用の問題だが、前に議論があった時に、自家用車の使用をなるべくみんなで自粛しようという呼びかけは良いが、北広島の場合は大きな団地が3か所くらいに分かれていて、それを結ぶ交通網がない。これをなんとかしない限りは、自家用車の使用を控えろと言っても、限界があり、それを合わせでやらないとうまくいかないだろうという話が出ていた。

そちらはいっこうに改善されないで、そして前回の調査に比べると皆さんは10歳年を取っているのだから、買い物に行くにしても、なおさら車を利用しなければならない。そういう解釈をしていった方がいいと思う。

アイドリングが減らないというのはちょっと分からないが。

(事務局) 確かに、好き嫌いという質問の3番目でバスの利便性が低いというのが20件近くあり、北広島団地、次に大曲地区とかなり多く出ていた。

(事務局) 郊外型の大きなショッピングセンターが出来て、車で買い物に行くというスタイルの影響があるのかと思う。それと最近感じたのは、ものすごく軽自動車、ハイブリッド車が低燃費なので使ってしまうのではないかと感じた。

(委員) 不法投棄の問題だが、車に乗って気がつくのだが、ゴミが、例えば郊外の道路に一個投げられていると、連鎖的にそこにゴミが増えていくという状況が多々見られる。

ゴミがあれば出来るだけ早くそれを除去するのが大事なことだと思われる。

(事務局) この4月からの不法投棄に関しては、今までパトロール1名の所を2名に増やし、郊外の不法投棄は早めに見つけて片づけるという取組をしている。今のような話については少しずつ減っていくと思う。

(委員) 質問だが、アンケートは20歳以上対象となっているが、20歳以上にした理由とか経過は何か。

(事務局) 前回のアンケートも20歳以上の市民の方の無作為抽出で、それを踏襲した。

(委員) 若い人達の環境教育などが非常に重要な意味を持つので、もう少し、年代を下げた調査もあれば良かったと思う。

もう一つは、21ページの質問4の項目で、野生動植物の保護管理は7番目と、非常に低いことが実は怖いと思う。

自然環境の問題は、他と取扱い方を変えたアンケートにした方がいいと思う。

特に、生物多様性が大きく取り上げられる時代なので、私も必要だと思うのだが、野生動植物の保護管理とは何なのかちょっと分りにくい。例えばアライグマなどの帰化動物、エゾシカの問題もあるが、もっと基本的な周りの自然の保全や、外来種の侵入状況など、あまり気がつかないものが本当は重要で、その辺を取り上げる様なことが必要だと思う。

自然環境の調査モニタリングを調査も是非計画に載せて欲しいと思う。

(事務局) 最初の若い年代を対象とした調査については、今後も考えていきたいと思う。前回調査では回答がこの倍の24項目あり、もう少し具体的な言い

方をしていたが、あまり多くすると回答が散らばってしまい、傾向が分からなくなってしまうことから今回はある程度まとめた形をとった。

そしてこのアンケートを実施するにあたり、あまり質問数を多くしては返って来ないということがあり、全体の質問数を A4 の紙 2 枚以内にボリュームを抑えたということもある。

モニタリング調査については、前回にもお話したが残念ながら出来ていないので、また国のお金などをうまく使うことを検討したい。

(委員) 先程のゴミ問題の意見を聞いていて、どう根本的に解決するか考えたが、市民の善意に頼っているうちは、たぶん解決できないのだろうと思う。

市の方で、何か対策を考えていくべき。

私は、江別の酪農学園に勤めているが、この地域は、燃えるゴミと燃えないゴミと簡単な区分になっていて、燃えないゴミはガラスとか危険な物が入って、あとは全部燃えるゴミとなり、ゴミの収集場所もきれいになったということだ。出す方も凄く楽になったと聞いている。燃えるゴミは全部資源で、発電所に行って電力になる。そういう抜本的な事を変えないと、いつまで経っても、ゴミ問題は、町内会など隣近所でやるしかなくなる。

市の方で抜本的に変えないとうまくいかないと思う。

それから過去に騒音、自動車の問題について意見を述べて、それは交通担当だと一蹴されたことがあるが、双方で真面目に考えないといけない。

検討することが必要ないなら別だが、関係するなら議論しなければならないと思う。高齢になればなるほど逆に若い人より自動車が必要になるので、年取った方が多くなれば、車が必要な人も多くなっていく。

イギリスではディーゼルエンジンが多い。2割くらいは乗用車もディーゼルエンジンで、バスもトラックもほとんどディーゼルエンジンになっている。ほとんど排気ガスがない。燃費が違うのか、除去装置がついているのか。

(事務局) ヨーロッパは今だと、5、6割がディーゼルエンジン。ディーゼルだと燃費が良いなどのことで規制があると思う。日本は、粉塵、黒煙の問題があってもあまり普及してこなかったが、改善されて来たので、これからはディーゼルもメーカーが開発に力を入れるようだ。

(委員) 日本と燃やす基準やルールが違う。

(委員) ディーゼルのバスの後ろを走っていても全く黒くない。専門家に聞いてみないと何故か分からないが、車が多ければ、当然振動と排気ガスと騒音が

生じる。

(事務局) 車の騒音問題についていうと、ほとんどがタイヤから出る音で、タイヤと舗装の状態を変えることでかなり改善されるのではないかと思う。坂道、交差点で止まって発進する時はエンジンの音がかかり出るが、定地走行している時にはタイヤからの音ということで、この辺りを変えることでかなり改善すると新聞報道で見た。

(委員) 向こうの道路は、アスファルトより石が多くて、騒音は結構あった。

(事務局) 石畳だとかコンクリートだと音が大きいのでは。

(委員) 結構静かだ。ほとんどの道で信号機がない、というのもある。

(委員) 高齢者が車を使うことについてだが、高齢者の買い物ができる小売店が本当に身近になくなってみな本当に困っている。大きな店はあっても遠いので、車を使いたくなくても車で行かなければならない状況だ。商業関係のそういうことを、高齢者にこれから対応として考えていかなければならないという意見もよく聞く。

(会長) 私も街の方に行けば米は安い、先々街に行けなくなることを考えて、米だけはすぐそばにあるストアで高くても買っていたが、その店が止めてしまった。年寄りにとっては、近くに日常的に必要なものが賄えるような店が欲しい。団地を作った時には、そういう考え方であちこちにあった店が、大型店ができたことでみんな駄目になってしまった。

(委員) 利便性を良くするほか対策のしようがない。バスをまめに走らせるとか、買い物専用のショッピングセンターバスを出すとか。

(委員) ジャスコなどは専用の買い物バスがある。ああいうものを大型店からたくさん出してもらえれば、高齢者も助かる。

(委員) イギリスなんか一日3ポンドで乗り放題で安い。本数もすごくたくさんで、乗用車が無くてもほとんどバスで行ける。

(会長) 先ほど交通のことは交通の審議会、と言われて、発言を差し控える

ように言われたとのことだが、ここは環境審議会で、関わってくることは他の審議会が有っても見方が違うと思うので、出して頂いていいと思う。環境問題としておさえるべき意見は遠慮なく出して頂いていいと思う。発言について遠慮しないで頂きたいと思う。

・事務局から資料2、3について説明

(会長) 私が全体的なことでは一番不満なのが、達成度の認定が自己申告だということ。自分がやったことを自分で評価するというのは、どうしても身勝手なものにならざるを得ない。

一つ気になったのは、防犯上の問題もあり、木の下枝は木の成長に合わせて、少なくとも目線から下は切る必要があるが、上の方は切り過ぎだと思う。特に松葉町のあたりのヨーロッパアカマツは、あまりにも強い剪定がされてみんな枯れてしまった。たくさん切れば、経費が安くなる、3回やらなければいけないのを2回で済むという発想がある。緑道では、せめて緑の木の葉っぱの下を歩きたいと感じており、今年のように夏の暑い日は、歩くのに日傘をささなければならぬというのでは、せっかく緑道を作っておきながら残念だと思う。

この資料を見るといかにも上手くいっているよう感じられるが、街路樹が歯抜けのままの状態というのは、いたるところにある。

問題は、植える数量。この前の話だととても少ない数なので。おそらくこのままではいつまで経っても、歯抜けのままの街路樹は整備されないだろうと思う。

広葉通は、アオダモの街路樹の並木を作った。道が凍っている時に、車がハンドル操作を間違っ木にぶつかって木を折ってしまっ、その後で、当時の土木事務所がなんでもいっだろうという発想でポプラを植えたりして、めちゃくちゃになっている。そんなところもきちんと整備しなければならぬし、本気で取り組むとなると植枿の面積があまりにも狭すぎる問題もある。

そんなことも考えていくと、ちょっとやそっとの予算じゃとてもやれぬだろうと感じている。その辺のところはしっかりと計画を建てて、年次計画でやっていかぬと解決されぬし、こんな荒れた状態の街路樹のままでは、北広島市は恥ずかしいという感じがする。早い時期に解決してほしいと考えている。街路樹の補植は確か年間18本だとか。

(事務局) 資料では、去年おととして18本、その前の年が17本、やってはいるが極端に少ない状況。

(会長) 市の街路樹としては、現状は、今申し上げたようになっていて、市の街路樹としては恥ずかしいことになっているということで、なるべく近いうちにきちんとして欲しいと思う。また、それが資料から読み取れるように書いて欲しいと思う。

(委員) 9ページの街路樹の上の方の「既存の樹林地等の保全充実」、とあるが、この内容の裏に「森林等の所有者の協力を求めながら、保護樹林の支援など所有者への啓発などを行いたい」と記述しているが、私有林もと考えてよろしいか。

(事務局) そのとおり。

(委員) 北広島の森林は全部で約3500ha、その63%は民有林で、民有林が63%を占めているが、所有者の数が分からないくらいいる。多くが不在地主になっており、連絡はつかないかと考えられるが、そうになると啓発は難しいのではないかと思われる。

昭和40年代、高度経済成長期に、道内の山林森林は、凶面上で売買された事例が各市町村で有り、確かに台帳には載っているものの、どこが自分の土地かわらないということが多々あって、市町村も困っている、森林組合も困っている、もちろん当人ももちろんだと思う。北広島の森林面積はそう広くはないが、道央ということでかなり売買されたことと想像している。

(委員) 街路樹に関して、みんなで一回自主的な研修をして、街路樹に対して積極的に提言していけるようになったらと思う。

実際の現場を見ながら、意識を高めながら、整理して提案する。忙しい人も多いから、全員が集まらなくてもよいので。

(事務局) 先程会長からも街路樹を是非きちんとしてほしいというお話があり、交通の関係でも、ここでは関係ないので、けんもほろろだったということだが、環境審議会は当然関連している。

この審議会の中で問題提起したことを、きちんと庁舎の中で出していく仕組み作りができないか、計画に盛り込んでいけないか、検討していきたいと考えている。

(会長) 自主研修の提案は、必要なことだろうと思う。市の方で検討して、実現する方向で考えるということでもよろしいか。全体でやれるか、結論を出して

頂ければ、私の方でも考える。

(委員) 一つだけ代表して伺うが、鳥獣保護のところで本当に密漁、盗掘があったのかどうかを知りたい。例えば、保全活動はされたのか、結果について一言でも入れてもらおうと、少し分かる。

(事務局) 鳥獣保護員などについては、北海道が委嘱しているものですから、私どもの方には報告などは入っていない。

(委員) 盗掘、盗採事実があったとか、それに対して、どう処理したとか、肝心なところが無いので、それが無ければ判断しようがない。

(事務局) その辺、確認したいと思う。

(委員) せっかく書くからには確認してほしい。

(委員) 資料3にもあるが、市内に在住の人材の活用、専門家の掘り起こしが必要。北広島は人材の宝庫と言われているので、是非掘り起こしてほしい。良い人がたくさんいると思う。

(会長) 資料3の快適環境、自然環境だが、エゾシカの問題は農作物に被害が出るという捉え方だけか。北広島の場合を考えると幹線道路が3本もあるわけで、そこでシカとの交通事故、この問題の方が怖いと思う。

(事務局) 交通事故で3件、ついこの間も中の沢線で交通事故での現場に私も入った。市道は土木事務所と交通安全対策担当で、交通事故の発生し易い場所に関しては、市内の道路上に警戒標識を設置している。

(委員) 先日、ふるさと祭りが行われた時、ゴミ箱を前年の6カ所から今年度は1カ所に減らしたが、やはり、その辺に投げる人が多かった。

よさこいを統括している方が、色んな所を回っているが、北広島はゴミに対して意識が薄いと言う。他の所は、ゴミはきちんと分別している。

どうしたら市民の意識が高くなるのか、何か講じなければと駄目かなと思う。

(会長) 隣の町内会長は、ゴミでノイローゼになりそうだと言っている。

私は毎回の回覧版に書いて情報を回しているが、そういうことを隣の会長も

やったものの全然効果がない。

ゴミを各戸ごと自分の家の前に出してもらい、そうすると自分の家の前に出したものが回収されないと分かって改まるのではないかと、そこまで考えているとのことだ。

(委員) 妹が札幌にいるが、ステーションの持ち回りというのがあって、2か月に1回、班の中で自分のところにステーションがくる。そうすると家の人が見張っているような感じで、きちんと投げて行く。自分の所でステーションをやった経験があるから、やっぱり決められた時間に持っていくしきれいになる。班は全部で30戸くらいだが、どこの誰のゴミだと分かる。ゴミステーションの持ち回りを北広島市でも、モデルとしてやってみたらいいと思う。

(会長) 私が一番問題だと思うのは、町内会の人があるものすごく苦労していることを、市の担当者が全然理解していないということだと思う。ある時、カラスに破られたゴミをどうやって処理するのか、と市に電話をかけたが、電話に出た人が、それは町内会で処理して下さいと言い、呆れて喧嘩したことがある。毎月、町内会からこういうゴミが置かれたと報告が行っている。それ見れば、どういうことが問題か分かるはず。

それを見て手を打ってほしいが、全然やる気がない。ゴミ問題というのは市の仕事のはず。自分たちの住んでいるところをきれいにしたいということがあるので、町内会も協力するが、本来の責任は市だろう。

それはきちんとしてくれないと、住民同士でゴミをめぐるトラブルなどになると困る。

(委員) 市の責任と言えばそれまでだが・・・。

回収するのは市だが、最低のモラルというのは、個人。それを徹底するためには、地元の町内会なども自分たちで取り組んでいくのも必要だと思う。大曲でも、ほんとにひどかった。町内会でどうしようかというのではなくて、家の前にある人は、自主的に見張っている。そういう人が何人か出てきて、町内の人たちも、マナーも守る。回収するのは市だけれど、最低の分別をして、決められた日と時間を守って。

マナーはやっぱり自分であり、また地元の取り組みであると私は思っている。

(委員) 私が責任は市だと言っているというのは、そういう意味ではない。

もともとゴミの処理は自治体が処理するということでスタートしている。それをこの市では、半分くらいの自治会ではわれわれはそんなことは知らない、

仲間同士、隣同士が仲悪くなっても困るから市には協力しないという。それはおかしいと思う。自分の住む環境をよくしていこうという考えがなければ快適な市民生活ができない訳だから、協力するのはそれでいい。だが最終責任は市がきちんと持つ、という形で町内会に市民に協力を求めていくというのが本来あるべき市の姿だろうと思う。

(委員) 協力はしないというのは、分別も何もしない、ということか。

(会長) そうではなくてステーションの持ち回り管理など、みんなで協力するというのはしないということ。やっと今、協力する自治会は3つくらい増えて、半分になった。

(委員) それは困ったものだ。みんなわれわれの税金でやっている訳だから、みんな自分のお金でやっている気持ちでいかないと。

(会長) 先程のふるさと祭りような経験をすると、大変残念な気持ちになる。ここに出てくるゴミに対する不満というのは、そういうことが多い。去年、有料化が始まった時に、1人ずつ班の人がステーションに付いて、持ってきたゴミをチェックしたことがある。そのあと町内会でゴミの問題が出た時に、よその人が置いていくのでは、と発言した人がいたのだが、そのチェックの任にあたった人は全部調べていて、そんなことはない、この町内の人が不適正排出していたと言って、誰かが置いていったというようなことは言えなくなってしまった。

本当にがっかりする。

ここに出ているゴミ問題は、みんなそういうこと。先ほど意見があったように、場合によっては集め方自体も変えなければ解決できないことなのかも知れない。

(委員) 分別するときペットボトルなら、ちょっとすすぐとか、こういうことをなかなかしてくれない。

(委員) すすいで、フタを取る。

(委員) 今、たいていは取らなくていい。昔は、全く別だったが、今は同じプラスチックになったので、よっぽど古いのは違うが、取らなくてもよくなった。

(以上でその他意見のないことを確認し終了)